

神戸出身 漫画に歌、文筆、野菜ソムリエ…

「ベジコ」マルチに大活躍



「普段つて自由でクリエイティブな仕事。今の活動にも生かされています」と話す坂井洋子さん=神戸新聞社



神戸市出身の漫画家兼イラストレーター「ベジコ」と坂井洋子さんが、名古屋を拠点に大活躍を見せている。野菜ソムリエや温泉ソムリエとしても情報発信するほか、自ら歌う野菜ソングが東海エリアのスーパーで人気に。さらに先月末には初の著書「キャラ営業の極意」で文筆デビューも果たした。マルチな才能を發揮するベジコってどんな人? (平松正子)

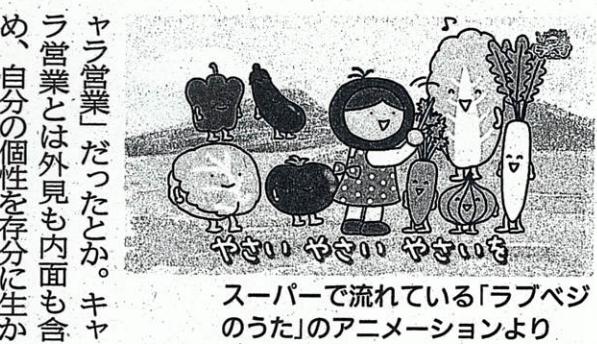
神戸市垂水区で生まれ育ち、兵庫県立大学を卒業後、リクルートグループに入社。営業ではトップセールスを記録し、転職情報サイトの立ち上げでも成功を収めた。10年半の勤務を経て、子どもの頃から好きだったイラストや漫画の道へ転身。大手企業や自治体の刊行物などに参画してきた。

2017年、友人らの協力を得て「ベジこのうた」を作成。動画サイトで発表したところ、大手食品メーカーからコラボの依頼が。翌年には同じ仲間と作った「ラブベジのうた」がスーパーの野菜売り場で連日流れ、地元放送局からの出演依頼も相次いだとい

う。「絵は独学ですが、会社員時代から漫画に使えそうなネ

志はメモしてました。歌も作りたいなあ」と思っていたら、自然に作詞や作曲のできる人が集まってくれて。やりたいと思ったことは思い切って口に出してみると「よ」と坂井さん。

本を出すのも長年の夢だった。出版企画のオーディションに挑戦した昨夏、自問の末にひねり出したテーマが「キャラ営業」だった。出版企画のオーディションに挑戦した昨夏、自問の末にひねり出したテーマが「キャラ営業」だったとか。キャラ営業とは外見も内面も含め、自分の個性を存分に生かした営業術のこと。かつての同僚に言われた「キヤピキャラのキャラ営業だね」という一言がヒントになった。



名古屋拠点 「やりたいこと、口に出して」



漫画を交えて営業術を指南する「キャラ営業の極意」

自分自身のキャラを分析するワークシートのほか、巻末には「独立しても使えるキャラ営業」と題した章も。営業職に限らず、さまざまな付き合いの場面で応用できるノウハウが満載だ。

坂井さんは「商品知識を伝えるだけならAI(人工知能)でいい」との人なら信頼できる」と思われるよう、自分の個性をうまく表現することが大切です。読んでくれた人が、それぞれの暮らしの中で役立ててくれれば」と話している。「キャラ営業の極意」は、

描き下ろしイラスト「ベジ
こ、神戸に里帰りの巻」